

ごみ減量の10カ条に チャレンジしてみよう

まだ使えそうなものを捨ててしまうとき、もったいないと感じることはありませんか？

「ごみ」とはいえ、もとは地球の大切な資源から作られています。無駄に買わない、無駄に捨てない気持ちで、「ごみ」を出さない工夫をしましょう。

ごみ減量の10カ条にチャレンジしてみませんか？

①買い物袋を持参し、レジ袋を断ろう

風呂敷も買い物袋として使えます。

②過剰包装は断ろう

ごみになるものは、家庭に持ち込まないようにしよう。

③詰め替え商品を利用しよう

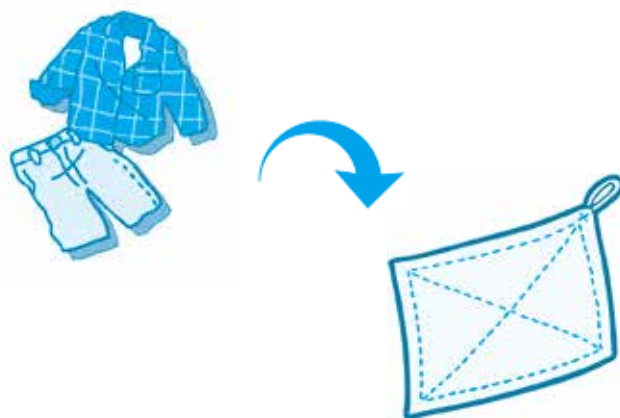
同じ容器を何度も使えて便利です。

④環境にやさしい商品を利用しよう

エコマーク、グリーンマークがついています。

⑤生ごみの水切りを徹底しよう

生ごみの重さの約半分は水分。ごみを出す前のひと絞りで袋の中に水が溜まらないようにしよう。



⑥資源回収に協力しよう

集団資源回収や食品トレイや牛乳パックの店頭回収に協力しよう。

⑦モノを大事に長く使おう

「もったいない」という気持ちを忘れずに。

⑧フリーマーケットを利用しよう

捨てる前に考えよう。他の誰かが使えるかも。

⑨レンタルを利用しよう

買うよりも、借りたほうが……ちょっと考えてみよう。

⑩もう一度活用しよう

捨てる前に考えよう他の何かに使えるかも。

村では、ごみ減量化に向けて、家庭用ごみ処理機および、EM菌対応バケツ (EM対応コンポスト含) の助成を行っています。詳しくは、下記までお問い合わせください。

〈問い合わせ〉役場 環境対策課環境保全係 Tel (67) 3176

特定外来生物 「オオキンケイギク」の 駆除にご協力ください

〈問い合わせ〉
環境省九州地方環境事務所 野生生物課
Tel 096 (322) 2413

オオキンケイギクは5月から6月の初夏にかけて鮮やかな黄色の花を咲かせるキク科の多年草です。この植物は繁殖力が非常に強く、放っておくと在来植物の生育場所を奪い、地域の自然環境に影響を与える恐れがあります。

オオキンケイギクは道路わきや庭先など、身近なところに生育していますので、見かけたら次の方法で駆除にご協力ください。

■自宅の敷地にオオキンケイギクがあった場合
種が熟す前に根ごと引き抜き、数日乾燥させた後、可燃ゴミとして処分してください。



オオキンケイギク

■近所の空き地などにオオキンケイギクがあった場合
役場 環境対策課環境保全係
Tel (67) 3176
までお知らせください。

※オオキンケイギクに似ている植物の写真などは、「九州地方環境事務所外来生物対策」のホームページからご覧ください。

http://kyushu.env.go.jp/wildlife/mat/m_2.html

※その他の「特定が依頼生物」や外来生物法などの情報は、「環境省外来生物法」のホームページをご覧ください。

<http://www.env.go.jp/nature/intro/>